

# 東北大学良陵同窓会

## 秋季総会の「案内」

初秋の候、会員各位には、益々ご清栄のことと大慶に存じ上げます。

さて、東北大学同窓会関東連合会秋季総会を下記により開催したいと存じますので、なにとぞ万障お繰り合わせの上、ご家族ご同伴にて、ご出席を賜りたくご案内申し上げます。

今回の総会では特別講演を東北大学医学部付属病院長の里見進先生（移植・再建・内視鏡外科（講座名：先進外科分野）教授、昭和四十九年卒業）にお願いして「東北大学病院のこれから」（後述）をテーマに内容の濃いお話をさせていただきます。

アフターランチコンサートは茨城県内で質の高い演奏で評価の高い『イ・ソリスティ・イバラキ室内合奏団』を特別にお迎えして、昼下がりの楽しいひとときをお楽しみ頂く予定にしております。

空は深く澄み渡る清秋の季節にふさわしい充実した総会になるものと思っておりますので、奥様はじめご家族の皆様お誘いいただき、ご出席を下さいますよう、皆々様のお越しを心からお待ち申し上げます。

東北大学良陵同窓会

関東連合会茨城支部長

高橋慎一郎

記

### 一、期日

平成一八年十月二十九日（日）

### 二、場所

ミラマール水戸京成ホテル

（JR常磐線水戸駅下車北口より徒歩五分）

〒311-0011 水戸市三の丸一・四・七

電話 〇二九（二二六）三一一一

ファクス 〇二九（二二六）二二〇〇

### 三、受付開始

午前十時三十分より

### 四、総会

午前十一時開会

開会の辞

支部長挨拶

経過報告

各役員報告

春季総会担当報告

閉会の辞

### 五、特別講演

「東北大学病院のこれから」

東北大学医学部付属病院 院長

里見進先生（昭和四十九年卒業）

午後十二時三十分開会

アフターランチコンサート

「イ・ソリスティ・イバラキ室内合奏団」

### 七、会費

会員 一〇〇〇〇円

ご家族 七〇〇〇円（一名様）

### 八、出席申込み

同封の振替用紙に会費と共に

十月十九日までにお申込下さい。







## 平成十八年度春季総会開催

東北大学良陵同窓会関東連合会春季総会は、六月三日（土）六本木一丁目アーク森ビル三七階、アークヒルズ・クラブにおいて、午後四時三十分から開催された。今回は、出席者六十名とこれまでで最も多く、しかも、黒木登志夫岐阜大学長はじめ群馬、山梨、栃木、千葉、埼玉、神奈川など東京以外にもかなりの参加者があった。

会長挨拶に引き続いて、二六名の物故者に黙祷を行い議事に入った。現在会員数一〇〇一名、会費納入率約六〇%、年二回の「関東良陵だより」は順調に発行、若手会、女医会の報告、会計報告の承認、今年新たに首都圏の教授になられた方七名の紹介があった。最後に、今年の秋季総会の会長高橋慎一郎先生（茨城支部長）のご挨拶があり総会を終了した。

引き続き高橋会長による特別公演「教室・病院の創、再建奮戦記」にうつり、急遽椅子を

かなり増やして満席での講演となった。秋田、京都の大学教室の創設や再建、東京での病院の再建についてユーモアをまじえての話は大変に好評であった。講演終了後、根本常任理事にお世話頂いた会員制の三七階から眺めの良い部屋に移動し懇親会に移った。アフターデナー・コンサートは、桐弦楽四重奏団の奏でる名曲に会員一同酔いしれた。今回は出席者が多く、全員にスピーチして頂くことは出来なかったが、東京の夜景を楽しみながら、大いに話しが弾み、盛り上った会となった。



平成18年良陵同窓会関東連合会春季総会写真

## アフターデナー・コンサート

当総会のため特別に桐朋音楽大学卒業生四名で編成された「桐弦楽四重奏団」のコンサートが総会の最後を飾る大輪の花となりました。

モーツァルト生誕二百五十周年を記念し曲目は、アイネクライネ・ナハトムジーク、デイベルメントK138をはじめバッハ・G線上のアリア等の名曲の数々。その息のあった名演奏に魅了されました。

最後の曲が終わっても、拍手が鳴り止まず、アンコール、アンコールの聲が響きます。それに応えて、コンサートマスターをつとめたヴィオリンの掃部彰子さんが「タイスの瞑想曲」（マズネ作曲）を独奏しました。彼女のヴァイオリンは、優美、夢幻、甘美な音色を奏でて聴衆を夢の世界に誘うような名演奏でした。



熱演する桐弦楽四重奏団



独奏する掃部彰子さん

## アフターランチ・コンサート予告

茨城大会に出演の楽団は「イ・ソリステイ・イバラギ室内合奏団」です。一九八六年六月に主宰・代表・指揮者である田口邦生氏により結成された弦楽合奏団で、質の高い演奏で好評を得ております。

レパートリーは、バッハ、ヘンデル等のバロック音楽から、モーツァルトまで、そしてロマン派のロッシニー、メンデルスゾーン、チャイコフスキー、次いで現代のブリテン、ヤナーチェク等と年々演奏の幅を広げています。

特に弦楽アンサンブルとしては、ヴィヴァルディの「四季」は最も演奏回数が多く、今までの著名な共演者は、徳永二男、千住真理子、漆原啓子、磯野順子、小林美恵がおり、その他、E・ジェンコフスキー、羽田健太郎、池辺晋一郎等と競演しています。茨城大会にご参加の皆様、当日の演奏を是非ご期待下さい。



